



一児童のよさ・がんばりを見取る（振り返りシートの活用）一

今回は、ポイントの八つ目として、外国語活動の評価について考えてみたいと思います。

皆さんは、外国語活動の評価をどのように行っているでしょうか。国語や算数などの主要教科と違って、もちろんテストなどありません。

基本は指導者の観察や活動の記録（ワークシートや作成物）といったところになりますが、ここでは評価の一つとして児童の振り返りシート（がんばりカード）を紹介し・お勧めしたいと思います。

これです！

平成28年度 外国語活動 振り返りシート (5) 年 () 組 名前 ()

H.fl1 () 月 () 日 () 曜日 () 時間目

Lesson3 : いろいろなものを数えよう	自分1人で よくできた	たすけて もらって よくできた	まあまあ かな	こんどは もう少し がんばるぞ
1. 「りんごにいくつ色をぬったかなインタビュー」では、積極的に友だちに数を尋ねたり、答えたりしようとしたか？	☐	☐	☐	☐
2. 友だちと、「いくつあるかなクイズ」を積極的にしようとしたか？	☐	☐	☐	☐
3. 英語でじゃんけんゲームを、積極的にしようとしたか？	☐	☐	☐	☐
4. 友だちと、キー・ナンバー・ゲームを積極的にしようとしたか？	☐	☐	☐	☐
5. 「10・ステップス」を、体をいっしょに動かしながら、積極的に歌おうとしたか？	☐	☐	☐	☐
6. リズムに合わせて、積極的にチャンツをしようとしたか？	☐	☐	☐	☐
7. ゲームやインタビューでは、「いくつあるかを尋ねる英語表現」を積極的に使おうとしたか？	☐	☐	☐	☐
8. ゲームやインタビューでは、「いくつあるかを答える英語表現」を積極的に使おうとしたか？	☐	☐	☐	☐

Lesson3 : いろいろなものを数えよう	よく わかった	まあまあ わかった	もう少し がんばろう	ちょっと むずかし かった
9. 国によって数の数え方が違うこと、似た言い方があることに気づきましたか？	☐	☐	☐	☐
10. いろいろな国の言葉には、それぞれ特色があることに気づきましたか？	☐	☐	☐	☐

11. 感想（気付いたこと・感じたこと・考えたこと、会話の楽しさや友だちのいいところなど）

平成28年度 外国語活動 振り返りシート (6) 年 () 組 名前 ()

H.fl2 () 月 () 日 () 曜日 () 時間目

Lesson2 : 友だちの誕生日を調べよう	1人で よくできた	ペアや グループで よくできた	まあまあ できた	こんどは もう少し がんばるぞ
1. 誕生日インタビューの活動を、積極的にしようとしたか？（自分編）	☐	☐	☐	☐
2. 誕生日インタビューの活動を、積極的にしようとしたか？（有名人編）	☐	☐	☐	☐
3. 月の言い方の英語表現を、積極的に言おうとしたか？	☐	☐	☐	☐
4. 月の言い方の英語表現を練習するチャンツを、積極的にしようとしたか？	☐	☐	☐	☐
5. 月と日付の言い方の英語表現を練習するカルタを、積極的にしようとしたか？	☐	☐	☐	☐
6. 誕生日を尋ねる英語表現を、積極的に使おうとしたか？	☐	☐	☐	☐
7. 誕生日を答える英語表現を、積極的に使おうとしたか？	☐	☐	☐	☐

Lesson2 : 友だちの誕生日を調べよう	よく わかった	まあまあ わかった	もう少し がんばろう	ちょっと むずかし かった
8. 世界の祭りや、日本独特の行事にあらためて気づいたり、興味を持ちましたか？	☐	☐	☐	☐

9. 感想（気付いたこと・感じたこと・考えたこと、会話の楽しさや友だちのいいところなど）

(/) _____

(/) _____

(/) _____

(/) _____

(/) _____

(/) _____

(/) _____

(/) _____

振り返りシート（がんばりカード）の類はかなり活用が進んでおり、実践研究会等で「まず見ないことはない」と言ってもよいと思います。

ですが、そのタイプは大きく二つあるようです。

一つは、毎時間同じ項目で感想や自分のがんばりを振り返るタイプ、もう一つは、単元の内容によって振り返る項目が異なるタイプ（上記例）です。

「いつも同じ項目タイプ」は、児童にとっては「考えやすい・書きやすい」というメリットがあります。一方、いつも同じなのでマンネリ化しやすく、「慣れ」からしっかり考えずにチェックしてしまう心配があります。

そこで私は、上記のタイプをお勧めしたいと思います。チェック項目がいつも違いますから、しっかり振り返る必要が生じ、その結果「児童のよさ・がんばり」を活動の実態により近い形で見取ることができます。

ただし、このタイプは事前に単元全体の構想を立てることが必要です。どんな活動を入れるかも見通さなくてはなりません。行き当たりばったりの活動ではだめです。

こう述べてくると大変さが先に目に付くかもしれません。ひとまず、指導者の余力と児童の実態に応じて選択し取り組んでみてはどうでしょう。

ちなみに、これまでの「振り返りシート」のデータがあります。活用してみたいという方は声をかけてください。エクセルシートですので、実態に合わせて直して使ってください。

そして、よりいいものができたときには、ぜひ私にも紹介してください！